

行 事 名 称	第119回技術者倫理研究会 例会
開 催 日 時	2025年9月9日（火曜日）18:30～20:30
開 催 場 所	Web中継、各地域本部等
主 催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 engineeringethics-studygroup
参 加 者	全国で104名参加(うち北陸本部参加者14名)
演 題	社会未経験の大学院生に英語授業で技術者倫理をどう伝えるか
講 師	鈴木孝氏 技術士（化学部門）
講 演 資 料	あり
内容	<p>本講演では、「社会未経験の大学院生に英語授業で研究者倫理、技術者倫理をどう伝えるか」をテーマに、教育現場での実践を報告します。</p> <p>受講生の多くは社会経験がなく、研究者、技術者としての倫理的判断を具体的に想像することが困難です。更に大学院の授業はすべて英語で行う必要があり、内容の定着を図る上で大きな課題がありました。</p> <p>そこで生成AIを活用し、事例定時、表現支援など、学生の理解を助け、倫理を「自分ごと」としてとらえるきっかけとなった手ごたえや、授業デザイン上の工夫について共有します。</p>
所感	<p>ご自身の大学院での教育経験から「教育現場での実践の報告」と「英語授業デザイン上の工夫」としてご講演があった。その中で、受講者の特徴の分析、現実とつながる責任感の芽生えを軸にしたアプローチとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的責任」と「現実の重み」を強調する ・「誰かの人生に関わっている」という当事者意識を育てる ・「グレーゾーンの判断」を事例をもって体験させる ・「個人の倫理」と「組織の論理」の葛藤を見せる ・将来へのエール といった切り口からの分析と英語授業の際の工夫等、大変興味深い内容で、参考になった。
記入者：2025.9.10 倫理委員会 阿部治彦	